

子供の人間関係と遊びの時間

一年一年心身ともに成長している子供達。人間関係も学年をおうごとに複雑になります。

低学年の場合、何か事件や事故があった時、すぐ教師がとんでいて、体に体をつけて、その喜びや悲しみを感じてやる。子供の体によさしく触れることによって、事件や事故も解決してしまうことが少なくありません。

中学年になると、友達の力が大きくなって、友達に話し、相談することが多くなります。

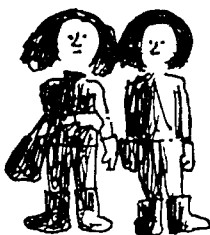
ところで高学年児は、自分の体験した事故や事件から受けた悲しみや悩みを体の奥にしまい込んでなかなかあらわしません。自分が今どんなに傷ついているか、外からはわからないことが多く、ひとりでしまい込んでいる間にいろいろ傷は深くなります。

友達に相談することも少なくなり、傷つく原因の多くが友達だし、相談することでさらに傷つくと考えているのでしよう。しかし、子供が自分の学校や学級で友達と様々な関わりを持つことは、発達上重要なことです。

ところで、彼らはどのような理由で友達を選択し、また、排斥するのでしょうか。ある調査の結果によると、「遊び」という目的に

応じて友達を選ぶ傾向がかなり早くから芽生えているようです。

排斥理由をみると全体的に自分の活動を阻止したり、自分の身に被害を与えるような友達を排斥しています。特に高学年になると、それに加えて、「なんとなく」とか「気持ちが悪い」というような人格に関わる感性的な理由もあげて嫌うようになります。



「遊び」については、おもしろく、協力し合って遊びたい。それをじゃましたり、うるさく言って足並みをそろえられない友達、自分勝手な友達は排斥したいという気持ちが出てきます。

しかし、友達関係を築くための大きな要因の一つである「遊び」の時間が現在は少なくなっているようです。現在の子供は、もっぱら家庭と学校という二点間を往復するだけといった感が強い。ないしは、そこに塾が加わって、三点間を歩き来しているだけという

よいのかもしれない。なぜそうなったかについては、いくつかの原因が指摘されています。

一つは、地域社会の固有の生活基盤が崩れ、子供達がそこで遊ぶ学ぶことが少なくなったことです。今、彼らは、家に帰った後、ふらりと外出しても、だれも、遊び相手がいらないのが普通です。昔は空き地かどこかへ行けば、必ずだれかがいてそこから遊びがスタートするのでした。

今、もし放課後家に帰った後、だれかと遊ぶとすれば、前もって学校で約束しておかなければなりません。学校で約束できる相手となると、クラスメートということになります。もし、彼らが家に帰った後、その一方が何かの事情で約束通り遊べなくなると、他方はそこで宙に浮いてしまう。彼はそこから違う遊びを始めることが出来ず、たいていは家に留まることになります。

二つ目は、彼ら全体に学習負担が増加し、学校が引けて後、塾や稽古事の教室に通う者が多くなったことです。文部省の調査によれば、塾、教室に通う児童の数は、この十年間で倍増しています。三つ目は、テレビの影響をあげなければならぬでしょう。このような現実があります。今後子供達の生活に潤いがあるように働きかけて行きたいものです。

第25回つる子どもまつり実行委員会 開催のお知らせ

25回目を迎える「つる子どもまつり」を、今年も5月の第3日曜日に予定しています。子どもまつりは、都留に住むお父さん、お母さん、働く青年、先生、保母さん、学生等と一緒に、実行委員会を行っています。子ども達や、子どもをとりまく環境について考える中で、5月の子どもまつりがつくられるのです。一人でも多くの人と一緒に、私達の街について考えたいと思っています。興味をもたれた方は、是非ご連絡ください。

日時 毎週金曜日 7時30分より
(第一回は3月18日予定)
場所 文化会館3階和室
連絡先 本田 ☎(43)9539
橋元 ☎(45)4521

ガールスカウト

入団者募集

異年齢でグループを作って活動するガールスカウトは、学校や家庭ではできない体験を通して自立心を養い創造力を育み、世界の平和を考え、社会に貢献出来る女性を育成することを目的としています。友達もたくさんでき、とても楽しい事がいっぱいです。

あなたもガールスカウトの一員になりませんか!

募集対象 新入学児童 8名
その他の学年若干名
連絡先 ガールスカウト山梨第10団事務局
上谷 2-4-8
長沼 ☎(43)3115
締切 3月末日
後援 市教育委員会
都留ロータリークラブ

